

ランブリング名古屋城 ～その1～

紅葉の美しい名古屋城に行ってきました。普段は入ることのできない施設が公開されていたので、ご紹介いたします。

下の3枚の写真は登録文化財の乃木倉庫の写真です。乃木倉庫は、明治5年頃に建設されたといわれる市内最古の煉瓦造の建造物です。内部は煉瓦の上に白漆喰、外部は白モルタル塗となっているため、一見煉瓦造には見えません。

名前の由来となった、乃木希典陸軍大將は、明治5～7年、23～25年に名古屋に赴任しています。



乃木倉庫

下の3枚の写真は重要文化財の西北隅櫓（せいほくすみやぐら）です。

西北隅櫓は1619年に建築され、清須城の古材を多く使用していることから、別名「清須櫓」ともいいます。屋根3層、内部3階で、最上階は入母屋造り本瓦葺となっており、現在の名古屋城の建物としては最古の建造物です。

城の四隅の石垣上に建てられたものを隅櫓といい、最初は物見（展望）として造られましたが、防戦や食料、武器の貯蔵施設の役割も果たしました。



西北隅櫓